

令和 2 年度業務実績に関する自己評価
及び
農林水産大臣評価（案）一覧

自己評価及び農林水産大臣評価（案）一覧

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 （案）
● 総合評定			A	A
Ⅰ. 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項				
○ 肥料及び土壌改良資材関係業務			B	A
◇ ① 農林水産省からの緊急要請業務(実施率:100%)			B	A
◇ ② 登録関係業務				
◇ ア 登録調査(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
◇ イ 生産工程変更相談(処理率:100%)			B	B
◇ ③ 肥料の立入検査等業務(標準処理期間内の処理率:100%)			A	A
◇ ④ 土壌改良資材の立入検査業務(標準処理期間内の処理率:100%)			A	A
◇ ⑤ 牛海綿状脳症の発生防止関係業務(大臣確認指示及び理事長確認申請受付)(処理率:100%)			B	B
ア 肥料取締法に基づき普通肥料の公定規格を定める等の件の一部を改正する告示等の施行について				
イ ペットフード用及び肥料用の肉骨粉等の当面の取扱いについて				
◇ ⑥ 肥料の法改正に伴う業務(肥料の法改正に伴う業務の実施状況)	高		B	A
ア 調査・情報提供				
（ア）立入検査の実施方法				
（イ）緩効性肥料等の表示基準				
（ウ）公定規格及び原料規格など				
イ 事業者への周知及び農林水産省へ情報提供する。				
ウ 研修会の開催及び必要な支援				
エ イ及びウの運用の統一				
⑦ その他肥料の安全確保等に関する業務				
◇ ア 手引書の汚泥肥料新規登録業者への周知及び品質管理の普及(手引書の汚泥肥料新規登録業者への周知率及び実施率:100%)			B	B
イ 登録及び公定規格改正				

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 (案)
◇ (ア) 事業者からの申出に対する調査等(事業者からの申出に対する調査等実施率:100%)			—	—
(イ) 農林水産省が行う公定規格改正調査				
◇ (ウ) 未利用資源を肥料として利用するための公定規格の設定に係る調査(農林水産省が行う公定規格改正に伴う調査実施率:100%)			—	—
◇ ウ 汚泥肥料中の放射性セシウム測定(実施率:100%)			B	B
エ クロピラリド				
◇ (ア) クロピラリド測定(立入検査等における測定実施率:100%)			B	B
◇ (イ) 取組周知(取組の周知実施率:100%)			B	B
◇ オ 外部精度管理に関する技術的助言(技術的助言等の実施状況)			B	A
◇ ⑧ 調査研究業務(調査研究業務の実施状況)	高		A	A
○ 農薬関係業務			A	A
◇ ① 農林水産省からの緊急要請業務(実施率:100%)			—	—
② 農薬の登録審査業務				
◇ ア 農薬の登録審査業務(標準処理期間内の処理率:100%)			A	A
(ア) 基準値設定必要農薬				
(イ) 基準値設定不要農薬				
◇ イ 審査報告書(標準処理期間内の処理率:100%)	高	高	A	A
◇ ③ 特定試験成績の信頼性の確保に関する業務(GLP 調査報告)(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
◇ ④ 農薬の立入検査等業務(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
ア 立入検査				
イ 集取分析				
⑤ 農薬の登録審査に附帯する業務				
◇ ア 農薬の登録審査に附帯する業務(国際調和)(技術的知見の提供)			B	B
(ア) 農薬の安全性その他の品質に関する科学的知見の収集及び解析	高			
(イ) 国際規格の設定等の議論に関しての、FAMIC の技術的知見に基づいた支援				

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 (案)
イ 農薬の登録審査に附帯する業務				
◇ (ア) 蜜蜂に含まれる農薬の定量(結果報告)			B	B
◇ (イ) 蜜蜂への影響評価の更なる検討(技術的知見の提供)	高		A	A
◇ (ウ) 使用時安全性評価の更なる検討(技術的知見の提供)	高		A	A
◇ (エ) 試験成績等整備の事前相談対応(技術的知見の提供)	高		A	A
◇ ⑥ 農作物に係る農薬の使用状況及び残留状況調査業務 (標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
◇ ⑦ 調査研究業務(調査研究業務の実施状況)			B	B
○ 飼料及び飼料添加物関係業務			A	A
◇ ① 農林水産省からの緊急要請業務(実施率:100%)			B	B
② 飼料等の立入検査等業務				
◇ ア 立入検査に係る結果報告(標準処理期間内の処理率:100%)			B	A
◇ イ 大臣確認検査(実施率:100%)			B	B
◇ ③ 愛玩動物用飼料の立入検査等業務(立入検査に係る結果報告)(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
④ 安全性確保に関する検査等業務				
◇ ア 基準・規格等の妥当性調査(実施率:100%)			B	B
◇ イ 飼料等の試験法等の開発等(実施率:100%)			B	A
◇ ウ 飼料等の検査(実施率:100%)	高		B	A
◇ ウ 愛玩動物用飼料の検査(実施率:100%)	高		B	B
◇ エ 耐性菌発現モニタリング調査(実施率:100%)			B	B
◇ オ 適合性の維持(実施率:100%)			B	B
⑤ 検定等関係業務				
◇ ・飼料添加物の検定申請(標準処理期間内の処理率:100%)			B	A
◇ ・登録検定機関調査(実施率:100%)			B	B
⑥ 工程管理及び品質管理等に関する検査等業務				
◇ ア 工程管理及び品質管理等に関する検査等業務(実施率:100%)	高		B	B
(ア) 抗菌剤 GMP ガイドライン及び GMP ガイドライン 適合確認申請検査				

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 (案)
(イ) センター確認				
(ウ) 特定飼料等製造業者及び規格設定飼料製造業者				
◇ イ 工程管理及び品質管理等に関する検査等業務(実施率:100%)			B	B
(ア) 輸出証明検査				
(イ) エコフィード及び UC オイル検査				
◇ ウ 工程管理及び品質管理等に関する検査等業務(研修の開催)			B	S
(イ) 飼料製造管理者認定講習会				
(ア) GMP ガイドライン研修				
◇ エ 工程管理及び品質管理等に関する検査等業務(技術的助言)(技術的助言等の実施状況)			B	A
◇ ⑦ OIE 関係業務(情報の収集・発信、技術協力等の実施及び報告書の提出)			B	B
◇ ⑧ 調査研究業務(調査研究業務の実施状況)			A	A
○ 食品表示の監視に関する業務			A	A
◇ ① 農林水産省からの緊急要請業務(実施率:100%)			—	—
② 食品表示法に基づく立入検査等業務				
◇ ア 立入検査(標準処理期間内の報告処理率:100%)	高		A	A
◇ イ 行政部局要請検査(報告処理率:100%)			B	B
◇ ③ 食品表示の科学的検査業務(原産地表示検査)(実施率:100%)			A	A
◇ ④ 食品表示 110 番等対応業務(関係部局への回付)(実施率:100%)			B	B
◇ ⑤ 調査研究業務(調査研究業務の実施状況)			A	A
○ 日本農林規格、農林水産物及び食品の輸出促進等に関する業務			A	A
◇ ① 農林水産省からの緊急命令等業務(実施率:100%)			—	—
② JAS の制定等に係る業務				
◇ ・ JAS の確認等に関する原案作成(実施率:100%)	高		B	B
◇ ・ 日本産品の優位性の発揮につながる原案(団体等の提案に係るサポート件数含む。)(原案作成件数(団体等の提案に係るサポート件数を含む。))7 件)	高		S	S
◇ ③ 国際規格に係る業務(国際標準化活動の実施)			B	B

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 (案)
・ 国内委員会等開催数				
・ 参画しているプロジェクト数				
・ 研修会等の回数				
◇ ④ 登録認証機関等及び登録試験業者等に対する調査等の業務(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
ア 登録認証機関等の登録及びその更新の申請に係る調査				
イ 登録試験業者等の登録及びその更新の申請に係る調査				
⑤ JAS 法に基づく立入検査等業務				
◇ ア 登録認証機関等(標準処理期間内の処理率:100%)			B	B
イ 登録外国認証機関等				
◇ ウ 登録認証機関等の技術能力確認調査(実施率:100%)			A	A
◇ エ 行政部局要請検査(報告処理率:100%)			—	—
⑥ 農林水産消費安全技術センター認定制度に基づく認定業務				
◇ ・認証機関又は試験業者の申請に応じて審査(実施率100%)	高		S	S
◇ ・国際相互承認に向けた取組(国際相互承認に向けた取組)	高		A	A
⑦ 農林水産物及び食品の輸出の促進に関する業務				
◇ ア 登録認定機関の登録及びその更新申請調査(実施率100%)	高		A	A
◇ イ 登録認定機関及び関係のある事業者に対する立入検査(実施率100%)	高		—	—
◇ ウ 行政部局の要請による調査(報告処理率:100%)	高		—	—
○ 食品の安全性に関するリスク管理に資するための有害物質の分析業務			B	B
◇ ① 農林水産省からの緊急要請業務(実施率:100%)			—	—
◇ ② サーベイランス・モニタリング年次計画に従った分析業務(農林水産省依頼分析)(実施率:100%)	高		B	B
◇ ③ 食品安全に係る有害化学物質の分析能力の確立(SOP 作成)(実施率:100%)			A	A

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 (案)
◇ ④ サーベイランス・モニタリング確認分析業務(実施率:100%)			B	B
◇ ⑤ ISO/IEC 17025 要求事項への適合の維持(ISO/IEC 17025 への適合性の維持)			B	B
○ その他の業務			B	B
◇ (1) カルタヘナ法関係業務(実施率:100%)			—	—
(2) 情報提供業務				
◇ ① ホームページ等による情報提供(顧客満足度:3.5 以上(5段階評価平均値))			B	B
ア ホームページ				
イ メールマガジン				
ウ 広報誌				
◇ ② 事業者等からの講師派遣依頼等(顧客満足度:3.5 以上(5段階評価平均値))			B	B
◇ ② 講習会の開催(顧客満足度:3.5 以上(5段階評価平均値))			B	B
(3) 検査・分析に係る信頼性の確保及び業務遂行能力の継続的向上				
◇ ① 分析業務の精度管理(実施率:100%)			B	B
◇ ② 技術研修の実施(実施率:100%)			B	B
(4) 関係機関との連携				
◇ ① 国民生活センターとの連携(研修・講座の開催についての連携)			B	B
② 国際技術協力要請				
◇ 専門家の派遣(派遣実施率:100%)			—	—
◇ 国際技術協力要請(海外研修員の受入(受入実施率:100%))			—	—
業務運営の効率化に関する事項				
○ 業務運営コストの削減			B	B
◇ ・一般管理費削減率(3%以上)			B	B
◇ ・業務経費削減率(1%以上)			B	B
○ 人件費の削減等			B	B
◇ 人件費(令和元年度予算額以下)(令和元年度予算額以下)			B	B
○ 調達等合理化の取組			B	B

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 （案）
◇ 競争性のある契約に占める一者応札・応募割合（45%以下）			B	B
◇ 随意契約によることができる事由の明確化（随意契約によることができる事由の明確化）			B	B
◇ 契約監視委員会における点検・見直しの状況（契約監視委員会における点検・見直しの状況）			B	B
財務内容の改善に関する事項				
○ 保有資産の見直し等			B	B
◇ 保有資産の見直し等（保有資産の見直し状況）			B	B
○ 自己収入の確保			B	B
◇ 自己収入確保の状況（自己収入確保の状況）			B	B
○ 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画			B	B
◇ 経費（業務経費及び一般管理費）節減に係る取組			B	B
◇ 法人運営における資金の配分状況			B	B
○ 短期借入金の限度額			—	—
◇ 法人の短期借入金について、借入に至った理由及び使途、金額及び金利、返済の見込み			—	—
その他業務運営に関する重要事項				
○ 職員の人事に関する計画（人員及び人件費の効率化に関する目標を含む。）			B	B
◇ 人材確保・育成方針の策定（人材確保・育成方針の策定）			B	B
◇ 人事評価システムによる評価の実施、システムの見直し（人事評価システムによる評価の実施、システムの見直し）			A	B
◇ 女性管理職登用の状況（女性登用の促進状況）			B	B
○ 内部統制の充実・強化			B	B
◇ 行動理念、行動方針、コンプライアンス基本方針等の見直し（行動理念、行動方針、コンプライアンス基本方針等の見直し状況）			A	B
◇ リスク評価の実施状況、当該リスク評価に基づく低減策の検討（リスク評価の実施状況、当該リスク評価に基づく低減策の検討状況）			B	B
◇ ガバナンスの確保、法令遵守（ガバナンスの確保及び法令遵守状況）			B	B

評価項目（総合評価●、中項目○、小項目◇）	重要度	困難度	自己評価	大臣評価 （案）
◇ 監事監査の体制の整備、内部監査の実施（監事監査の体制の整備及び内部監査の実施状況）			B	B
◇ 法人文書の管理、情報の公開及び個人情報の保護に関する対応（法人文書の管理、情報の公開及び個人情報の保護に関する対応状況）			B	B
◇ 事故及び災害の未然防止に係る体制の整備（事故及び災害の未然防止に係る体制の整備）			B	B
◇ 環境負荷の低減に資する物品調達（環境負荷の低減に資する物品調達状況）			B	B
◇ 防災体制等の見直し（防災体制等の見直し状況）			B	B
○ 業務運営の改善			B	B
◇ 法人の長のトップマネジメントによる業務運営の改善状況（法人の長のトップマネジメントによる業務運営の改善状況）			B	B
○ 情報セキュリティ対策の推進			B	B
◇ 情報セキュリティ取組状況（情報セキュリティ取組状況）			B	B
（1）情報セキュリティ・ポリシー等の見直し、体制の維持の状況				
（2）情報システムの構築、保守及び運用管理の状況				
（3）役職員の教育による組織的対応能力強化の状況				
（4）情報セキュリティ監査結果等を踏まえた対策の検討の状況				
◇ 情報セキュリティ対策ベンチマークによる自己診断のスコア（自己診断のスコア：平均 4.0 以上）			B	B
○ 施設及び設備に関する計画			B	B
◇ 施設及び設備の整備・改修等の実施			B	B
○ 積立金の処分に関する事項			B	B
◇ 積立金の処分			B	B